

# フレキシブル環境発電デバイスの新展開

## New developments on flexible energy harvesting devices

IoT社会の実現に向けて、軽量性や柔軟性を有する環境発電デバイスに大きな期待が寄せられています。本シンポジウムでは、有機無機ハイブリッド材料、有機強誘電体、ナノカーボン、バイオマテリアル等を用いた各種のフレキシブル系環境発電デバイスについて広く議論いたします。ナノ構造や界面物性制御等による発電機能の創出や高効率化に向けた最近の研究展開について各分野の気鋭の研究者の皆様からご紹介頂き、異分野間での意見交換や若手研究者が知識共有できる場を提供することを目的としています。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 2017年9月5日 (火) 13:15 ~ 17:15

【場所】 福岡国際会議場 会場 C19

- 13:15 酵素/カーボンナノ電極を用いたバイオ発電デバイスと生体応用 (招待講演)  
三宅 丈雄 (早稲田大学)
- 13:45 カーボンナノチューブは熱電材料? (招待講演)  
野々口 斐之 (奈良先端科学技術大学院大学)
- 14:15 グラフェンのフォノンエンジニアリングと環境発電への展開 (招待講演)  
有江 隆之 (大阪府立大学)
- 14:45 有機-無機コンポジットによるフレキシブル熱電発電デバイス (招待講演)  
宮崎 康次 (九州工業大学)
- 15:15 休憩
- 15:30 ヘテロ界面構造とSn系混合金属ペロブスカイト太陽電池 (招待講演)  
早瀬 修二 (九州工業大学)
- 16:00 光透過型有機薄膜太陽電池を用いた農業用センサシステム  
大橋 昇 (諏訪東京理科大学)
- 16:15 分極制御有機圧電薄膜による振動発電素子 (招待講演)  
石田 謙司 (神戸大学)
- 16:45 量子ドットを用いた太陽電池と様々な環境下での発電特性 (招待講演)  
久保 貴哉 (東京大学)

【世話人】 永瀬 隆 (大阪府立大学), Pandey Shyam S (九州工業大学)  
福田 武司 (埼玉大学), 馬場 暁 (新潟大学)

【企画】 応用物理学会 有機ナノ界面制御素子研究会